



藤井律子市長にDVDを贈呈する山下武右会長



完成したDVD全3巻と小冊子

児玉源太郎顕彰会は、令和元年
度から2年がかりで製作し、この
ほど完成した映像教材「児玉源太
郎 未来を築く」(全3巻) 10
0セットを10月8日周南市に贈呈
しました。

周南市に1000セット贈呈
次世代への継承をめざした
DVD「児玉源太郎 未来を築く」

ほんちようふうしん
本丁通信

編集・発行
児玉源太郎顕彰会
〒745-0874
山口県周南市公園区5854-41
周南文化協会 内
TEL. 0834-22-8190

印刷 (有) 精文社
山口県周南市若宮町1-55
TEL. 0834-21-1611

児玉源太郎が生きた時代とその
生涯を描いてDVD3巻にまとめ
たものです。明治から152年。
歴史を回想する中で未来への指針
になればと、児玉源太郎顕彰会が
企画しました。制作は山口放送、
特別協賛はトヨタカローラ山口。
200セットを製作し、1000セ
ットを周南市の小・中学校、高校、

大学、図書館、市民センターなど
にお届けします。

8日の贈呈式には、藤井律子市
長、中馬好行教育長、顕彰会の山
下武右会長、トヨタカローラ山口
のト部博文代表取締役会長、山口
放送の竹村昌浩顧問らが出席、山
下会長から「日本の近代化に貢献
した先人の歴史を若者たちへ伝え、
未来を切り拓いてもらいたい」と
藤井市長に1000セットを贈りま
した。藤井市長は「大変ありがた
い贈り物です。学校をはじめ、い
ろんな場で活用したい」と感謝の
言葉を述べました。

児玉源太郎(1852〜190
6年)は徳山藩の士族の家に生ま
れ、明治政府にあって、政治家と
して軍人として国家の運命を背負
って生きてきました。その生涯を、
今を生きる私たちの学びの場とし
て伝えます。次世代への贈り物で
す。

DVDは第1巻「児玉源太郎を
知っていますか」、第2巻「児玉
源太郎が生きた明治とは」、第3巻
「児玉源太郎が目指したものは」。
第1巻はふるさとをの地を中心に、
お家の断絶と再興など苦境を乗り
越えてはばたいていく姿。第2巻
は佐賀の乱から日清戦争の終結ま
で。不平士族の反乱を抑え、明治
政府が軍隊を整えて帝国憲法発布、
日清戦争へとたどる中で児玉源太
郎が果たした役割を描きます。日
清戦争のあと、大陸から帰還した
軍人二十数万人の近代医学に基づ
く検疫は一大事業で、児玉源太郎
や後藤新平は手腕を発揮して国民
の生命と暮らしを守りました。第
3巻は第4代総督として民政長官
後藤新平の力を得て台湾を統治、
一方で日露戦争を勝利に導き、早
期の講和条約に持ち込んで日本を
救った功績など、その行動を通じ
て児玉源太郎が目指した近代国家
に迫ります。

入門編として子どもから大人ま
で理解できるように分かりやすく
編集。学校や図書館、市民センタ
ー、美術博物館でも活用しやす
いように1巻15分、3巻通しても45
分内で収めました。企画の趣旨、
鑑賞の仕方、ゆかりの地マップな
どをまとめた解説書を作成して添
付、上製箱入りです。200セッ
トの製作費用全額をトヨタカロー
ラ山口からご支援いただきました。
残り1000セットは国会図書館、
47都道府県の中央図書館、後藤新
平記念館、小村寿太郎記念館など
に贈呈します。児玉源太郎顕彰会
会員の皆様にも希望者には実費で
頒布したいと考えています。追加
で1000セット発注、1セット5
千円。お申込みは事務局へ。

コロナ禍で書面開催へ 児玉源太郎顕彰会総会

児玉源太郎顕彰会は5年目に入りました。令和は激動の時代です。令和2年は年明けとともに中国・武漢に端を発した新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るい、わが国でも4月に緊急事態宣言が出されました。予定していた5月14日の役員会、5月23日の総会はいずれも書面による開催に切り替えました。

議案は、任期満了に伴う役員を選任、令和元年度事業報告と収支決算、令和2年度事業計画と収支予算、児玉源太郎顕彰会会則の改正、児玉源太郎顕彰会基金規定の制定の5議案。役員会で書面表決を求めて原案通り可決、役員会の議決をもって総会議決とし、会員に総会資料を送付することの同意を得ました。

議案の役員選任では全員再任、ただし幹事の清木伸浩氏は後任として周南青年会議所理事長に就任した河村啓太郎氏に、同じく幹事の岡倫明氏は後任として徳山商工会議所青友会会長に就任した廣澤

和己氏に交代しました。

元年度の事業では総会をはじめ、会報「藤園」4号とニュースレター「本丁通信」5号と6号を発行、児玉源太郎の命日7月24日の「藤園忌」には児玉神社と菩提寺の興元寺へお参りし、「藤園忌」にちなんだ茶会や俳句募集を行いました。会員は寄付金7人、団体会員20件、賛助会員34件・7人、個人会員290人の計54件・304人。総数で358件・人。

新たな事業として、5月23日に児玉神社境内に告知板を設置、11月30日に興元寺墓地に児玉源太郎遺髪塔の案内板を設置したほか、児玉の生涯とその時代を描く映像教材「児玉源太郎 未来を築く」のDVD制作をスタートして第1巻を作成、2年度までの2か年で全3巻を完成させます。第2回台湾歴史の旅はコロナ禍で中止しました。

2年度の事業計画では、会報「藤園」5号とニュースレター「本丁通信」7号と8号の発行、7月19

日に第4回「藤園忌」の茶会と邦楽演奏を周南市文化会館で、命日の24日は児玉神社で命日祭、そのあと興元寺で墓前供養。6月から7月まで藤園忌にちなんだ俳句を募集。映像教材「児玉源太郎 未来を築く」のDVD全3巻完成、児玉ゆかりの地を訪ねる第3回台湾歴史の旅などを予定しています。新たな事業としては岩手県奥州市の後藤新平顕彰会との交流などを考えています。

会則の改正は、第12条(会費・財務)について1項の「団体及び賛助会員は1万円以上とする。」を「賛助会員は1万円以上とする。」に改めるなど。児玉源太郎顕彰会基金規定は、小川亮初代会長の逝去に伴い、昨年6月に遺族の小川洋子夫人から1千万円のご寄付があり、その遺志を生かすために制定するものです。

新任の役員は次の通り。(敬称略)

▽幹事 河村啓太

郎(周南青年会議所理事長) 廣澤和己(徳山商工会議所青友会会長)

※令和元年度収支決算と令和2年度収支予算、第4回「藤園忌」命日祭と供養、俳句の入賞作品と表彰式、記念講演、映像教材「児玉源太郎 未来を築く」全3巻完成については別頁で詳細を掲載していますのでご覧ください。



会報「藤園」4号とニュースレター「本丁通信」5号と6号

令和 2 年度 収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	前年度 決算額	備 考
繰 越 金	12,775,177	4,488,460	
会 費	1,000,000	1,596,000	個人会費 ----- 賛助会費
寄 付 金	3,000,000	10,510,000	寄付金
雑 収 入	180,000	185,673	会報「藤園」販売 ----- 茶券 ----- 利息
合 計	16,955,177	16,780,133	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	前年度 決算額	備 考
会 議 費	50,000	4,600	会場費等
通 信 費	300,000	334,915	切手・葉書 郵送代
消 耗 品 費	100,000	74,863	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,200,000	1,204,940	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	50,000	0	
書籍購入費	50,000	30,856	
渉 外 費	50,000	40,000	慶弔費
宣伝広告費	50,000	7,700	ホームページ
事 業 費	3,500,000	1,513,594	総会、記念講演会 ----- 「藤園忌」茶会、命日祭、墓前供養 俳句募集 ----- DVD作成 ----- 後藤新平顕彰会と交流
負 担 金	10,000	0	諸会費
事務局費	800,000	754,269	賃金・賃料・光熱水費
手 数 料	50,000	39,219	郵便振替手数料
基 金	10,000,000	0	児玉源太郎顕彰会基金へ
予 備 費	745,177	0	
合 計	16,955,177	4,004,956	

令和元年度 収支決算書

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	4,488,460	4,488,460	
会 費	1,000,000	1,596,000	個人会費 580,000 ----- 団体会費 250,000 ----- 賛助会費 766,000
寄 付 金	2,500,000	10,510,000	寄付金 10,510,000
雑 収 入	100,000	185,673	会報「藤園」販売 29,100 ----- 茶券 156,500 ----- 利息 73
合 計	8,088,460	16,780,133	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
会 議 費	50,000	4,600	会場費等
通 信 費	300,000	334,915	切手・葉書 郵送代
消 耗 品 費	100,000	74,863	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,000,000	1,204,940	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	50,000	0	
渉 外 費	50,000	40,000	慶弔費
宣伝広告費	100,000	7,700	ホームページ
事 業 費	4,000,000	1,544,450	「藤園忌」茶会 174,710 ----- 「藤園忌」命日祭・供養 77,068 ----- 藤園忌俳句・記念講演会 265,758 ----- 児玉神社告知板 遺髪塔案内板 915,800 ----- 総会・講演会等 80,258 ----- 書籍購入 30,856
事務局費	500,000	754,269	賃金・賃料・光熱水費
手 数 料	40,000	39,219	郵便振替手数料
予 備 費	1,898,460	0	
合 計	8,088,460	4,004,956	

(収入) 16,780,133 - (支出) 4,004,956 = (残高) 12,775,177

第4回「藤園忌」 児玉神社と興元寺へ



児玉源太郎顕彰会は「藤園忌」

の7月24日、児玉神社（黒神直大宮司）で命日祭、菩提寺の興元寺（金子清学住職）で供養を行いました。コロナ禍がなければこの日は東京オリンピック開会式。それを記念して制定された祝日「スポーツの日」でしたが、あいにくの雨になりました。顕彰会の役員、会員ら有志14人が参列し、児玉源

太郎の遺徳をしのびました。

児玉神社では拝殿で黒神宮司の祝詞が奏上され、山下武右会長が代表して玉串を捧げました。雨のため、興元寺では児玉家墓地の墓前供養から本堂での供養に切り替えました。金子住職が読経をあげて参列者が焼香、続いてご本尊の前に木本清美さん、柴田具子さん、森谷京子さんの3人が児玉の漢詩



児玉神社での命日祭で挨拶する山下武右会長



興元寺での「藤園忌」供養



雨の中、花が供えられた児玉源太郎遺髪塔

を献吟しました。

山下会長は「児玉源太郎は知性の人。多くの人に慕われて立派な功績を残された。コロナ禍と水害などまさに日本は大変な時期にある。2年後は徳山港開港百年。この危機を克服してまちの再生へと、顕彰会もその役割を果たしたい」と話しました。

児玉源太郎の命日については23日と24日の二つの説がありますが、児玉源太郎顕彰会では児玉家が24日を命日としていること、墓石に24日薨去と彫られていること、菩提寺が24日で供養を執り行っていること、などから24日を「藤園忌」と決めました。

第4回「藤園忌」 茶会中止



児玉源太郎顕彰会は、命日を前にした7月19日、周南市文化会館で「第4回藤園忌茶会」を予定していましたが、コロナ禍の中「3密（密集・密閉・密接）」を避けることが難しいため中止しました。

周南文化協会の茶道連盟（村田園会長）と邦楽連盟（澄田悦子会長）の協力を得て箏と尺八の演奏を聴きながらお茶を楽しんでいたいただきたいと考えていましたが残念な結果になりました。

開催できる環境が整えば来年も続いて「第5回藤園忌茶会」を計画しますのでどうぞお楽しみに。



昨年開催された第3回藤園忌茶会

第4回「藤園忌俳句」

入賞作品決まる



児玉源太郎顕彰会は7月24日の「藤園忌」にちなんだ俳句を6月から7月にかけて募集しました。今回から募集期間を1か月早めました。

俳句は雑詠で、これまでの「児玉源太郎に関すること」に加えて季節を詠んだ当季雑詠。1人3句まで。128人から358句が寄せられました。無記名清記のうえ、選者の宇多喜代子さん（現代俳句協会特別顧問）、坪内稔典さん（「船団」代表）、久行保徳さん（「草炎」主宰）に依頼し、特選3点、入選10点、佳作17点の計30作品を決定しました。

「藤園」は児玉源太郎が書などに晩年使っていた雅号です。器量の大きな政治家、軍人として日本の近代化を推進した明治の偉人、児玉源太郎。ふるさとにおいては私財を投じて私設図書館「児玉文庫」を作りました。文庫は明治36年から戦災で焼失する昭和20年まで42年間にわたり教育の向上に大き

第4回「藤園忌」俳句募集!

～児玉源太郎の遺徳を偲んで～

募集期間：令和2年7月1日～7月31日

募集対象：小学生～高校生

募集内容：当季雑詠、無記名清記

募集方法：〒740-0292 周南市 児玉文庫 宛

募集料：無料

賞状：特選3名、入選10名、佳作17名に贈呈

発表会：令和2年11月10日（日） 周南市 児玉文庫

お問い合わせ：0994-22-1111

く貢献しました。現在の周南市立中央図書館の前身とも言えます。昨年3月の中央図書館リニューアルオープンの折「児玉文庫メモリアル」の愛称が付けられました。

徳山港開港の大正11年遷座祭が行われた児玉神社や台湾から移植された記念樹「タイワンゴヨウ」の松、菩提寺の興元寺、生家跡の産湯の井戸、3年前に整備された生誕の地など、市内には児玉源太郎をしのぶ史跡があります。入賞作品は次の通りです。

特選

悠々と児玉神社の青大将
箕面市 鶴濱 節子

ポンプ押せば水出てきそう藤園忌
周南市 山本礼以子
眼差しの遠きは涼し藤園忌
柳井市 片山 淳子

入選

濃き墨の元帥の軸夏座敷
周南市 中坪 光江
緑陰の一人一人づつ爆発す
光市 上野 昭子
峰雲は峰雲を呼び藤園忌
山口市 吉次 薫

児玉忌の白い巣箱を掛けにゆく
長門市 榎田 敦子
峯雲の湧き立つ岐山藤園忌
周南市 藤兼 雅幸
螢火に闇ぬれてくる沈下橋
光市 竹本チエ子

夏木立像立つ空と光り合ふ
周南市 松本 赫子
鬼やんま児玉文庫の空翔ける
周南市 木村しづを
一壺には野の花挿して園忌
周南市 吉浦百合子

椅子退けて畳に胡坐西瓜喰ふ
周防大島町 三原 伊文
佳作
峰雲を追いし男や藤園忌
下松市 石丸 靖男

少年に一枚の空藤園忌
下松市 藤井八重子

老木に力みなぎる藤園忌
下松市 中田 裕子
蝉しぐれ大将像の黒光り
周南市 藤井富士子
児の声の転がる文庫児玉の忌
周南市 山根 志づ

墨痕のやわらかくあり藤園忌
光市 松原 君代
虹かかる児玉文庫の戸が開く
枚方市 衛藤 夏子
神鈴のひとさわ澄みて藤園忌
柳井市 松原八重子

ふつくらと白をつくして牡丹鱧
長門市 河瀬 洋司
手の平で豆腐切る妻夏の朝
周南市 佐藤 チツ
児玉文庫の門標朽ちず風薫る
周南市 岡田 郁子

大将へ続く坂道蟻の列
周南市 松岡 哲彦
嫁取りは島の祝いや枇杷たわわ
光市 窪川実津江
軍港にクレーンかたぶく日雷
防府市 尾辻のぶほ

文庫本は明治の匂い藤園忌
周南市 津森 敏伸
語り継ぐ郷土の漢よ藤園忌
周防大島町 村田 光子
うらやまし十二人の子藤園忌
光市 掛川 潔





第4回「藤園忌俳句」表彰式

「藤園忌俳句」は今年で4回目を迎えました。特選3点、入選10点、佳作17点の入賞作品表彰式を9月22日、周南市文化会館3階展示室で開催しました。

入賞者30人のうち24人、児玉源太郎顕彰会役員と会員、俳句愛好者ら70人が出席しました。選者3人のうち宇多喜代子さん、久行保徳さんも出席、宇多さんは「今、思うこと」と題して記念の講演をされました。

最初に主催者を代表して山下武

右会長が、児玉源太郎顕彰会設立の経緯や「藤園忌俳句」の意図などに触れ「4回を迎えて定着してきたことを嬉しく思う」と挨拶。選者を紹介したあと、入賞作品を一句ずつ披露しながら山下会長から出席された特選の3人に賞状と賞金、入選の7人、佳作の14人に賞状と記念品が手渡されました。特選の鶴濱節子さんは大阪府箕面市から、佳作の衛藤夏子さんは枚方市からご出席、ほかの受賞者とともに大きな拍手で祝福を受けました。

このあと、選者の宇多さんが講演。まず、コロナ禍の暮らしについて「3月6日以降、10人以上の会合に出たのはこれが初めて。コロナ禍は社会のありよう、暮らしかたなどすべてのものを変えました。正しく怖れて動けばよい。いずれどうにかかります」と前置きして入賞作品の選評を。

特選の「悠々と児玉神社の青大将」。この句は動詞がないが、叙述が見える。いかにも児玉神社に

は青大将が居そうな気がする。「ポンプ押せば水出てきそう藤園忌」。中七の水出てきそう、が効いている。産湯の井戸の古いポンプから水が出そうで出ない雰囲気がある。「眼差しの遠きは涼し藤園忌」。眼差しの遠きは涼し、の表現が上手い。児玉源太郎の眼差しでしょう。涼し、藤園忌の季語が重なっているが、藤園忌はまだ歳時記に記載されていないので大丈夫。継続して秀作を生み出すことで季語は定着する。季語をみんなで育てましょう。



講演される選者の宇多喜代子さん

入選や佳作についても、それぞれ良いです。「濃き墨の元帥の軸夏座敷」「峯雲の湧き立つ岐山藤園忌」「鬼やんま児玉文庫の空翔ける」「少年に一枚の空藤園忌」「うらやまし十二人の子藤園忌」などの句に触れながら目の前に情景が浮かんでくる。「藤園忌」の言葉は五文字で下五に置くと落ち着き

がよい。

このようにお話しされたあと、コロナ禍の中で「病氣と季語」についての資料を用いて、高浜虚子の「病にも色あらば黄や春の風邪」や杉田久女の「コレラ怖じ蚊帳吊りて喰う昼餉かな」、日野草城の「妻の留守ひとりの咳をしつくしぬ」などの句を紹介しながら、愛好する俳人のトップ川端茅舎は結核に苦しみ「火の玉の如くに咳きて隠れ栖む」「天が下朴の花咲く下に臥す」の句を残したと。

コロナ禍で時間がある今、句集を読むこと、句を作ることには絶好の機会。出かけての吟行は叶わなくても家の中吟行、卓上吟行、ひとり吟行、駅まで吟行など句材はあふれています。身近なところから世界は大きく広がります。

終わりに、日本の水と米が心配、山を育て、きれいな水を確保すること、昔から日本人の命を支えてきた米作りを農業の基本に据えること、が大切です。自給率を高めて日本の国土と日本人の暮らしを守らなければならないと力説されました。

特選3句は、周南市岐山通三丁目児玉源太郎生誕の地の告知板に2年間掲示します。

児玉源太郎との深いご縁

周南市出身の俳人 宇多喜代子さん

現代俳句協会特別顧問として活躍されている周南市出身の俳人、宇多喜代子さんは、児玉源太郎と深いご縁があることが分かりました。

宇多さんは昭和10年生まれ。戦時中は当時の河原小学校（現在の岐陽中学校の場所にあった）、戦後は桜ヶ丘中学校で学び、徳山高校を経て関西に生活の拠点を移されました。

「獅林」を経て「草苑」にて桂信子に師事。現在は「草樹」会員。第35回蛇笏賞、第14回現代俳句大賞、日本芸術院賞、昨年は文化功労者に選ばれました。

平成28年2月には周南文化協会の「周南市ゆかりの人」講演会での「俳句の恵み」と題して感銘深いお話をされました。この年6月に地元有志が児玉源太郎顕彰会を設立、周南文化協会に事務局を置いて活動を始めました。児玉源太郎没後110年の節目にあたります。翌年から源太郎の命日7月24

日を「藤園忌」と定めて茶会や俳句募集をしました。平成30年の「第2回藤園忌俳句」から宇多さんにも選者に加わっていただきました。

今年も春から俳句募集チラシなどの事務連絡をしていたところ5月末に宇多さんからお手紙が届きました。

「実は児玉様は私の祖父の親代りで祖母との仲人をもつとめて下さいました。いろいろありました関係書類その他すべて空襲で焼けてもたなく、ことに祖父母亡きあとには忘れたようにしておりました。

唯一残っておりますのはあることで焼け残りました台湾からのおみやげの塗りの蓋つき菓子盆で、祖母はよく使っておりました。曾祖父が熊本城で戦死したのち幼児だった祖父の後見人として祖父の陸士への入学時、祖母との結婚まで御恩をいただいていたとのことでした。なにやかやみな昔のことに

なっていました」

児玉源太郎との間にこのようなご縁があったとは初めて知りました。驚きました。児玉源太郎から台湾みやげとして頂戴した蓋つき菓子盆は「いまも我が家にあり、



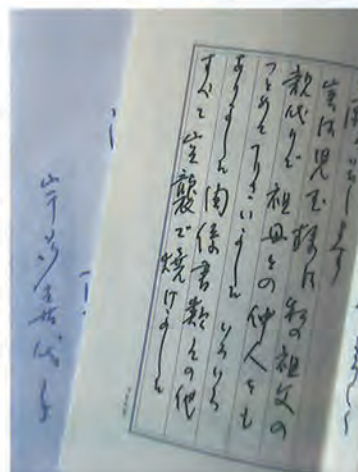
児玉源太郎の台湾みやげの蓋つき菓子盆

NHK俳句 暦と暮らす 語り継ぎたい季語と知恵

宇多喜代子さんが「NHK俳句 暦と暮らす 語り継ぎたい季語と知恵」を刊行しました。

「NHK俳句」テキストに寄稿した連載をまとめました。春夏秋冬と新年・正月に分けて立春から

無傷で立派です」ということで、別のお便りには「実はもうひと揃え、いい塗りの五色のかわいい椀があったのですが、地震の時に半分が割れ処分してしまいました」としたためてありました。このような深いご縁で児玉源太郎顕彰会にもご入会されました。有り難いことです。



ご縁について書かれた 宇多喜代子さんの手紙

大寒まで二十四節気ごとに俳句を掲載、暦を目安にした昭和の暮らしと豊かな季語の世界を紹介しています。

宇多さんは「生活にまつわる季語は、日本人の暮らしの辞典として、生活文化の継承の標として、歳時記に留めておいてほしい」と記しています。

4月15日初版。NHK出版。1500円(税別)

「台湾民主化の父」 李登輝元総統へ弔意伝える

児玉源太郎顕彰会

台湾初の本省人（台湾出身者）

総統として総統直接選挙などの民主化を推進し「台湾民主化の父」と呼ばれた李登輝元総統が7月30日、台北市内の病院で死去しました。97歳。その日世界にこのニュースが流れ、翌日の各新聞朝刊は1面で大きく報道しました。

児玉源太郎顕彰会は31日、山口県と山口県議会と歩調を合わせ、台北駐福岡経済文化辦事處に次の通り弔意を伝えました。

親日家として日台関係に尽力された偉大な政治家を失い、大きな悲しみに包まれています。児玉源太郎のふるさと、山口県周南市から深く哀悼の意を捧げます。

児玉源太郎顕彰会

会長 山下 武右

李登輝氏は日本統治下の1923年、台北郊外（現新北市）で生まれ、京都帝大（現京大）農学部で農業経済を学びました。「22歳

まで日本人だった」と公言するほどの親日家。学徒動員で陸軍高射砲部隊に配属、少尉として終戦を迎えました。戦後、台湾に戻り、台湾大学を卒業、蔣経国元総統に見出されて政界へ。1988年、蔣氏の死去に伴い、副総統から総統に就任。8年後には初の総統直接選挙を実現させて当選、民主政治を定着させました。



李登輝元総統の逝去を伝える各新聞

「日本人」として育ち、台湾人として生きた生涯は波乱に富んでいます。台湾の近代化を推進した政治家としての児玉源太郎を高く評価していました。「街道をゆく」の取材で総統に会った司馬遼太郎は「笑顔になると、木の香りがにおい立つようである」と書いています。

日台交流の活動を通して李登輝元総統に台湾で2度お会いした、顕彰会副会長の小野英輔さんは中国新聞の取材に「その思い出は今も私の宝物。今の台湾があるのは4代目台湾総督をつとめた児玉源太郎のおかげと言ってもらった。その政治力を高く評価していた」と回想しました。会報「藤園」創

刊号に小野さんはそのことを詳しく紹介しています。ご一読ください。

ふるさとの周南市児玉町にある児玉神社（黒神直大宮司）は李登輝元総統の死去に伴い、境内に半旗を掲げて弔意を表しました。

境内には、李登輝氏揮毫の石碑「児玉源太郎先生 浩氣長存 李登輝」があります。児玉源太郎没後百年にあたる2016年（平成28）、地元有志が建立しました。高さ5メートル、幅2メートルの台湾産の石で中央に大きく「浩氣長存」と刻まれています。浩氣とは浩然の気、長存とは永遠に存在するという意味です。



児玉神社に建立されている李登輝揮毫の石碑

「児玉源太郎資料調査報告書」刊行

周南市教育委員会生涯学習課



周南市教育委員会では、本市の教育や文化の向上に資するため、平成二十九年度から三年間、郷土の先人・児玉源太郎に関する調査に取り組みました。

関係各所からのご支援を賜り、このたびその成果をまとめましたので、概要を紹介します。

児玉源太郎は、本市ゆかりの近代日本を支えた人物として知られています。

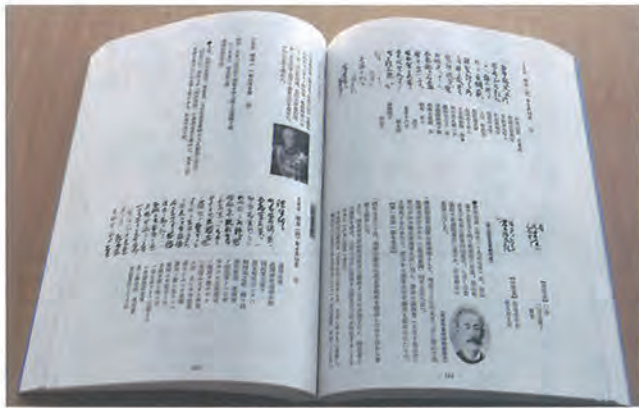
しかしながら、その生涯については史料が少なく、近年その人物像に近づく刊行物が増えつつあります。

そうしたなか本事業は、児玉源太郎という人物を通じて、先人の業績と郷土の歴史に対する学習活動を推進するとともに、市民の郷土への誇りと愛着を深め、本市の教育や文化の向上に資することを目的としました。

そのため、学術的に高度な評価は研究書に譲ることとし、郷土の

人物として本市との繋がりを重視すること、児玉源太郎について学ぼうとする市民の助けとなることを心掛けました。

報告書作成にあたり、まず一次史料を確認して年譜を作成することとし、その過程を通じてテーマを整理して構成しました。報告書の構成は、全五章及び資料です。



調査報告書 (第二章)

第一章は、郷土との関係についてまとめました。藩政期の記録や新聞記事、市内に点在するゆかりの地や石碑のほか、児玉文庫の設立から終焉までを紹介しています。

第二章は、一次史料を整理し、掲載されている図書や原史料所蔵先を示すことで、より源太郎の想いに近づくことをめざしました。

膨大な公文書は対象から除き、源太郎が第三者に発信した書簡等を一覧とし、そのうち市民が活用しにくい活字化されていない文書を紹介し、少しでも源太郎の「声」を届けることとしました。

簡単な説明を加え、またイメージを豊かにするものとして一部の文書に画像を添付しました。

第三章は、広島や鎌倉など県外でのゆかりの地について、第四章は、信頼性の高い図書に記されたゆかりある人物による回想や逸話、第五章は、源太郎の漢詩を紹介しています。

また巻末の資料では、系図のほか、各章の根拠とした史料を明示した年譜、源太郎が発信した書簡の一覧や関係図書の一覧などを掲載しています。

本事業では、所期の目的達成に努めました。しかしながら本報告書とは異なる視点からのアプローチもあると考えています。また、漢詩や書画など調査に充分時間を割けなかったテーマもあり、児玉源太郎の実像に迫るにはなお調査の余地が残っています。

本報告書は、市内の各学校だけでなく、市内全ての図書館や県内主要図書館等に配布しております。多くの方々に活用いただき、児玉源太郎への関心と理解が深まることで、次の世代へと発展的に受け継がれていくことを願っています。

最後に、本事業にご協力いただいた多数の皆様へ、心よりお礼申し上げます。



調査報告書 (A 4版、全455ページ)

新刊紹介

俳句とエッセー 「早寝早起き」



俳人の坪内稔典さんが俳句雑誌や日本経済新聞などに近年掲載した俳句とエッセーを「早寝早起き」と題して刊行しました。表紙の帯には「軽やかに、なごやかに、とくに辛辣。俳句と散文の奏でる豊かな時間」と読者をいざないます。坪内さんは1944年愛媛県の佐田岬半島生まれ。京都教育大学や佛教大学で教えるかたわら俳人としても活躍。俳句グループ「船団の会」代表を長く務めました。毎日新聞に「季語刻々」として今日の句を連載、好評です。児玉源太郎顕彰会の「藤園忌俳句」で一昨年の第2回から選者の一人に加わっていただきました。

新刊は俳句として「飯蛸と伊予柑」「シロサイと文旦」「デコボンとうんこ」「カリフラワーと長崎」の題で25句ずつ、最後に新作「わ

たしの十句」を紹介。「びわ食べて君とつるりんしたいなあ」。ご本人いわく、自信作と。しかし「自信作はたいはいよくない」。

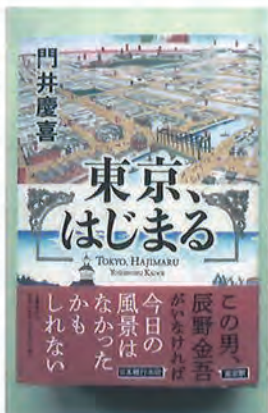
散文の「軽井沢する」や「おい、つるりんしよう」「下駄鳴らし」など18編は軽妙でいずれも味わい深いです。とくに正岡子規へ寄せ

る思いは格別です。
7月20日初版。創風社出版。
1400円(税別)。

建築家・辰野金吾の熱い生涯

「東京、はじまる」

門井 慶喜



日本銀行や東京駅を造った建築家、辰野金吾の物語。江戸から東京へ。明治新政府の中で新しい国の形が作られていきました。建築の分野で先駆的な活躍をしたのが辰野金吾です。

明治の初め、工部大学校(東京大学工学部の前身)でイギリス人建築家ジョサイア・コンドルから学び、第一回卒業生としてイギリスに留学、帰国後は日本銀行本店をはじめ、中央停車場(東京駅)

という大事業をこなしました。工部大学校の同期には赤坂離宮や京都国立博物館などを手掛けた片山東熊がいます。辰野は唐津藩の子として生まれ、苦勞を重ねて建築家として力を発揮しました。

明治の草創期の熱気を伝えながら日本銀行、東京駅の工事のありさまを克明に描いています。辰野金吾を中心とした明治の建築家の苦闘と人間模様は史実に基づいたフィクションとして真に迫ってきます。読んだ後は日本銀行のある日本橋を歩いた時、東京駅に降り立った時、その建物を見る眼が変わります。

2月25日初版。文藝春秋。
1800円(税別)。

神に選ばれた男 児玉源太郎

日本一小さな巨人

中川 秀彦



児玉源太郎に関する著作が相次ぎます。日本人で初めてベトナムに専門学校を設立、人材育成に尽力する中川秀彦さんが「神に選ば

れた男 児玉源太郎―日本一小さな巨人―」を刊行しました。

中川さんは1962年神戸市生まれ。関西学院大学卒業後、証券会社勤務を経てIT企業を起こして成功。2006年家族とともにベトナムに移住。株式会社YAMATOベトナム代表取締役。学生に基礎日本語と日本流のビジネスマナーを教えて即戦力となる人材を育てています。著書に「戦艦大和が沈んだ日」「艦隊は動かさず―ベトナムから日本への贈り物―」(いずれも牧歌舎)などがあります。

日露戦争に勝利して日本を窮地から救ったエリート軍人、現代の台湾人をして親日家たらしめたエリート行政官としての彼の偉業に、もう一度スポットをあてたいと筆を執りました。出雲に集まる神々によって「日本をロシアから守る担当者として選ばれた」という設定で、神がかったとも思える児玉の数々の実績を、若い人にも読みやすいように伝えていきます。長州藩のこと、ふるさと徳山のまち、児玉と軽気球など文中にはさんだコラムも軽妙です。「常に本質を追求し、自分の本分を知り命を削って与えられた任務に邁進した児玉源太郎の姿勢から学んで行動する必要がある」と中川さんは結んでいます。

6月30日初版。牧歌舎。
1200円(税別)。



「窓」

窓は内と外をつなぎます。窓を通して外界とつながり、新たなドラマが生まれることを念じて会員からの便りや会員への呼びかけをしていきます。会員の皆様、小話や短いエッセーなどの原稿、さらにご意見、ご感想などぜひお寄せください。この頁は会員をつなぐ「窓」。いつも開放して風通しを良くしたいと思います。

早速、児玉源太郎ファンで顕彰会設立以来の会員、田口さやかさんから小話が届きました。田口さんは会報「藤園」に毎回寄稿してください。

児玉源太郎と白瀬轟

田口 さやか
(札幌市在住)

児玉源太郎は、各方面の人物と交流があったが、南極探検で有名な白瀬轟と初めて出会った時の会話が今に残っている。

北極に行きたい、そのための体力もあると言う白瀬に、児玉は「自分でできると思っている、他人は信じない。世間が信じないと言ふことは、出来ることもできない。反対に、世間が信用してくれれば、何事もできないことはない。それが世の中だ」と千鳥や樺太行きを勧めたという。

児玉らしい挿話があるため、興味のある方には白瀬轟の書籍をぜひ一読ください。

南菜園のことを知りたい

今年5月発行の会報「藤園」第5号に台北市の「鎮南山臨済護国禅寺故事」を執筆された金子展也さんからは、児玉源太郎の別荘、南菜園の逸話を知りたいと連絡がありました。「児玉源太郎の足跡 鎮南山臨済護国禅寺と南菜園」を仕上げたいと。

周南市在住の高田十五郎さんという方が「台湾総督の別荘 南菜園に関する逸話」というテーマで2008年5月に投稿された記事をご覧になり、詳しく知りたいと顕彰会事務局に打診がありました。顕彰会幹事で元周南市立中央図書館館長の花田佳子さんに連絡したところ、「高田さんという方は存

じています。中央図書館に度々お見えになり、一緒に児玉源太郎のことなどをお話しました。投稿の記事については記憶にありません。分かりましたらまたお知らせを」という返事でした。田口さやかさんも「藤園」第2号で南昌公園の場所にあった南菜園のことに少し触れておられたので金子さんから連絡を取ってもらうことにしました。

金子さんはさいたま市在住の顕彰会会員で、かつて仕事で台湾に5年間駐在、日本統治時代の史跡を調査して2018年5月には「台湾に渡った日本の神々」(光人社)を出版されました。昨年8月は児玉源太郎ゆかりの地を訪ねて周南市にも寄られました。調査研究に余念のない行動派です。

第4回「藤園忌俳句」の朗報

掛川 潔
(光市在住)

まさか俳句で私が入賞するなんて！「うらやまし十二人の子藤園忌」。この作品で藤園忌俳句の佳作に選ばれました。参加すること意義があり、で初回から三句ずつ応募していますが、入賞するなと思ってもみませんでした。

それまで俳句を詠んだのは二度だけ。妻が逝った年の瀬のテレビで除夜の鐘を聞いて「ひとり酒ほろり涙す除夜の鐘」と、妻が旅先から十年後に届くハガキを投函、世界した五年後に配達されたとき「逝きし妻旅をしたかと問ひし文」の二句。ほめられることはやはり嬉しいです。妻に報告しながらじわりと喜びがわいてきました。

人事往来

山口県文化連盟会長に就任
顕彰会の西崎博史事務局長

山下 武右

(児玉源太郎顕彰会会長)

児玉源太郎顕彰会事務局長の西崎博史さんが今年7月、山口県文化連盟会長に就任しました。任期2年。

山口県文化連盟は各市町の文化協会、合唱や吹奏楽、舞踊、華道、茶道、詩や短歌、俳句など県内の62団体が加盟しています。事務局は山口県文化振興課に置いています。

西崎さんは周南市市文化会館館長を兼ねて周南文化協会会長に平成27年就任、現在3期6年目。山口県文化連盟では理事1期2年、副会長1期2年を経て会長に選出されました。周南市からは初めて。



児玉ゆかりの地を清掃

児玉源太郎を敬愛する地元有志が、児玉町の児玉神社と児玉公園、岐山三丁目の産湯の井戸がある「生誕の地」を清掃しています。

児玉源太郎をご祭神とする児玉神社と銅像のある児玉公園は、児玉家の家名断絶の翌年に再興を許された時に改めて拝領した屋敷があった場所です。藩校の流れをくむ徳山小学校の西隣で目抜き通りの桜馬場に面しています。

「この町の顔とも言える場所。弁当殻や缶、瓶、煙草の吸殻が放置されている。きれいにしておかないと遠来の客に笑われる」と15年前から、特定非営利活動法人山



児玉神社と児玉公園を毎月清掃する人たち

口県アクティブシニア協会（略称AYSA）と自治会の有志が毎月第一土曜日朝8時から一時間清掃しています。

梅雨が明けてまもない8月1日は、児玉源太郎顕彰会会員でもある内山実さん（元出光興産徳山製油所副所長）ら有志12人が竹箒を手に落ち葉やごみを拾い集めていました。

「生誕の地」は源太郎が生まれた時に産湯の水をくんだと言われる井戸が残っています。やはり顕彰会会員で近くに住む澄田悦子さんら有志数人が暑い中、何度となく草取りに汗を流していました。井戸のまわりの伸び切った草木、藤の棚から垂れさがった蔓を刈りました。

有志の皆さん、ありがとうございます。世のため人のために生涯を捧げた児玉源太郎の実践を今に生かされています。



生誕の地公園をきれいにする付近の住民ら

編集室より

鉄道のリール幅

川上 浩史

児玉源太郎は、旅順攻略にあたり烟台から鉄道で移動しました。この鉄道はもともとロシア独自のリール幅1524ミリのものでした。

そのため参謀本部では、開戦後ただちに多くの私鉄から人材や資材を集めて鉄道部隊を編成し、戦線とともに日本国内と同じ1067ミリにリールの幅を改めました。また機関車や貨車は船で送り、作戦に用いました。

鉄道をキーワードとして、児玉の話は何かまとめたいと考えています。

（新南陽郷土史会事務局長）

時をこえて集結

松本久美子

東京の陸上自衛隊朝霞駐屯地にある陸上総隊司令部から、司令官応接室に児玉源太郎の書を展示したいという依頼があり、今年1月、美術博物館所蔵の児玉源太郎の軸を貸し出しました。右から児玉源太郎、乃木希典、大山巖の書が並びます。

当時の高田克樹司令長官のご希望で、このほか勝海舟、西郷隆盛、大正天皇の書も飾られたそうです。

「字は体を表す」という言葉のように、応接室を訪れた方々は、それぞれの筆跡からその人となりを感じられた

のではないのでしょうか。



（周南市美術博物館学芸課長）

児玉源太郎という存在

西崎 博史

児玉源太郎顕彰会が発足して4年余り。2年目は茶会や俳句募集などの「藤園忌」行事を始め、3年目は明治150年の実行委員会を組織して数々の記念事業を実施。小川亮初代会長の逝去に伴い、4年目には山下武右2代会長の下、新体制が動き始め、映像教材「児玉源太郎 未来を築く」の製作に着手、2年がかりでこのほど完成させました。

この間いろんな人たちに支えられました。人が歴史を作りますが、歴史がまた人を動かすとも言えます。求められて児玉源太郎は国難を打開しました。没後114年の今、児玉源太郎が歩むべき道を導いてくれているように感じるがあります。彼のふるさと、ここに在り。誇らしく思います。

（児玉源太郎顕彰会事務局長）